

麻績村の教育方針に関する研究検討委員会

「第6回保育園・学校部会」 会議録

日時 平成30年1月30日 午後5時30分

場所 地域交流センター 第3・4研修室

出席委員 市川祥介(麻績村教育委員) 小山正文(麻績村教育委員)  
宮川裕満(学校組合教育委員) 高坂 徹(筑北中学校長)  
清沢 剛(筑北中学校教頭) 宮下智恵美(筑北中学校教務主任)  
福田弘彦(麻績小学校長) 北條泰瑞(麻績小学校教頭)  
鳥海 康(麻績小学校教務主任) 臼井孝夫(麻績保育園長)  
刈間伸一(麻績小学校PTA会長) 小山芳道(筑北中学校PTA会長)

教育委員会事務局 飯森 力(教育長) 臼井太津男(教育次長) 尾和正行(主事)

## 1 開会

**教育次長**：定刻となりました。これから第6回保育園・学校部会を始めさせていただきます。なお、この部会につきましては傍聴可能となっております。傍聴される方にお伝えいたします。本日の会議につきましてはお手元にある次第に沿って行われます。また、傍聴席からの会議への質問、意見等についてはご遠慮いただきますようお願いいたします。それでは、部会長あいさつをお願いいたします。

## 2 部会長あいさつ

**部会長**：こんばんは。この寒さの中、仕事でお疲れのところご出席いただきましてありがとうございます。麻績村では先日子ども議会、筑北中学校では模擬法廷が行われ、新聞報道に掲載されました。未来につながる明るいニュースに元気をいただきました。ご多忙のところ、委員の皆さんにはいろいろとご準備いただき感謝を申し上げます。それでは、これから始めていきますのでよろしくお願いいたします。

### 3. 協議事項

**教育次長**：それでは、協議事項に入りたいと思います。協議につきましては部会長に進行をお願いいたします。

**部会長**：次第について、協議事項になりますが(2)分散会の今後の進み方についての前に(3)ICT活用教育アドバイザー派遣事業第2回目の報告を先にしていただきたいと思います。このような順序で進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

**全 員**：(了承)

**部会長**：それでは、事務局から説明をお願いします。

**教育次長**：まず、今回の会議資料の確認をさせていただきたいと思います。

(配布資料の確認)

前回の議事録について事前にお配りしておりますが、何か問題等ありましたら、お願いします。

**部会長**：よろしいでしょうか。何かありましたら、遠慮なく事務局へご連絡いただければと思います。

#### (1) 前回の部会(12/19)の再確認

**教育次長**：それでは、前回の部会について確認をさせていただきます。前回の部会におきまして、第1に目指すべき子ども像について協議をしていただいて、部会として「心豊かで たくましい 麻績の子ども」ということになりました。この根拠として、振興計画や村の最終答申の中でも使われている言葉ということになります。最終決定は、村の総合教育会議で決定することとなります。前回の部会で小中学校の分散会の説明をしていただきまして、それに対しての先生方の意見を報告していただきました。「一貫教育と言っても劇的な変化がある訳では無く、小中学校の教員が同じテーブルで話し合い、取り組みを行っていくことで子どもたちが徐々に変わっていく、より

良い方向に向かっていく」ということが示されました。「教育現場の職員が考えながら麻績村ならではのもの、現状の子どもたちに合うものを作り出していくというスタンスが大切」ということもあらためて確認されたところでもあります。PTA からも「小中学校の連携、特に中学生の活動を小学校に情報として流れていくことが非常に重要である」という意見も出されております。「一貫教育という視点の中で小中学校の職員が両校で何が行われているかを知ることができたのは大きな成果であり今後このような継続が重要で、筑北村と一緒になろうとも生きていくことである」というまとめがありました。その後、分散会の「授業の約束・授業展開・家庭学習」についての説明があり、その中で学力向上に向けた 3 つの柱として①授業の充実②授業における共通ルール③家庭学習が示され、三者が一体となって取り組むことである基本ということが言われました。

次に 11 月に第 1 回目が行われました ICT 活用教育アドバイザー派遣事業が行われました。ここでは、現在学校が抱える課題を主に現状の報告をし、それに対して派遣された先生が助言をするという形で「新しい学習指導要領には ICT が必然的に組み込まれていくのではないか」というような話もありました。

最後に、11 月 22 日に開催された小学校 PTA 主催の説明会の状況報告とその後に行った保護者アンケート等の報告がありました。保護者の方からの意見には厳しいものもあり、また一貫教育が周知されていないと感じるものもありまして難しい問題だと感じております。以上で前回会議の内容確認とさせていただきます。

**部会長:**何かご意見等ございますか。よろしいでしょうか。それでは、次の協議事項に移ります。先に(3) ICT 活用教育アドバイザー派遣事業を議題とさせていただきます。

### (3) ICT 活用教育アドバイザー派遣事業 第 2 回目の報告(1 月 15 日開催)

**委員:**それでは、ICT 活用教育アドバイザー派遣事業第 2 回目の報告をさせていただきます。1 月 15 日の 4 時 30 分から麻績小学校の教室を会場として行わせていただきました。実際に教室に導入されている ICT 機器を見ながら開催したものとなります。アドバイザーの後藤

先生から資料に沿って ICT を取り巻く現状と情報化推進の必要性等を先進地の事例を踏まえながら説明をいただきました。

概要としましては、「ICT を活用することによって児童・生徒にどのような資質・能力を身につけさせたいのかイメージを学校・行政が共有することが必要」ということが言われました。「新しい学習指導要領に記載された ICT 活用と日々の教育ニーズとのギャップを埋めることがはじめの一步」だと言われました。

教育の情報化の必要性ということでは「ICT を活用して教育効果を上げるという時代は終焉です」と言われました。これからは ICT 込みの能力が求められる時代だということでした。

教室環境は、どのように整えればよいかということについては、「ICT の活用は新しい学びの実現度を高めるものであって、実際に子どもたちは何が重要か主体的に考え、他者と協働しながら新たな価値の創造に挑むとともに、新たな問題の発見・解決に取り組む」ということ。そのためには「アクティブラーニング」の視点で個の学習ニーズや一人ひとりの個性に応じた資質・能力を育成するような学びを実現することが重要ということが言われました。これにつきましては「個の良さを伸ばす」という村教委の答申内容に合致するものだと思います。具体的にどのようなものが必要かということとして、①すぐに起動し投影されることが大切ということで児童生徒が自身で準備ができるということ。プロジェクターは画面がすぐに変わるものを、板書は残るものという言い方をされました。また、②黒板を塞がないことが重要ということで、同時にいくつものことを投影していけば色んな段階の子どもたちに同じ教室での授業が展開できるということでした。③明るくても投影できるもの。つまりは遮光カーテンの設置が必要ではないか。④ストレスなく動画が再生できる LAN 環境ということで、教室で ICT 機器を使用して投影する時に音声と映像でずれが出るということでした。

検討課題としては、各教科・個々の先生方の発想と創意工夫を引き出すことが出来るかということ。「ICT に詳しい先生に頼りすぎない。継続していくために先生方への負担は分散させること」ということが言われました。また、各先生の工夫を手軽に共有化する工夫。ICT 支援員が入るようであれば、「導入の滑り出しを手厚く行える方が望ましいのではないか」ということでした。

自治体への期待ということも言われまして、「児童生徒の立場、教師の立場を最優先にして、正のモデルを示してもらいたい」、「自分が授業するという気持ちになって整備を行ってほしい」ということが言われました。特に「ICTを導入するにあたって、先生方に面倒だと思わせないことが大切」ということ。「導入段階を大切に考えていただきたい」ということが言われました。

次回、最後となる3回目ですが、2月6日の4時から地域交流センターで行われます。この3回のまとめとして「小中一貫教育を念頭に置いて、現状を加味した中での課題を挙げていただき、小中学校が同じレベルの環境となるような方向性の導き」を協議内容を行う予定であります。以上になります。

**部会長：**何かご意見等ございますか。よろしいでしょうか。実際に行政の方で手をつけなければいけないこと、小中学校で行っていただかなければいけないことが言われましたが、それぞれで進めていただくということで、次回の3回目の会議を経て来年度に繋げていただければと思います。それでは、(2)分散会の今後の進み方についてに移ります。

## (2) 分散会の今後の進み方について

- ・ 一貫教育への取組についての「見える化」
- ・ 平成29年度の予定及び30年度の計画

**委員：**それでは、私から今後のことについても含め、話をしたいと思います。今年度もあと2か月となりまして、今年度のまとめと来年度の方向ということで資料を用意しましたのでご覧ください。大きく分けて「学力向上リーフレット」と「H30 保小中一貫教育の取組」についての提案になります。部会としては、今回と2月下旬の開催の2回で考えました。各校園では、2月の中旬と4月当初に行ってもらいたいことが記載してあります。

「学力向上リーフレット」の流れとしては、今回の部会で学力向上についての審議がされて、ご意見をいただいたものを2月の中旬に職員会等で時間を取っていただけてみていただき、「これで実際に

やっっていけるのか、変えた方が良いのか」熟議をしていただきます。その後、再度部会を開いていただいて完成版の確認を2月の部会に提案していただきたいと考えております。教育委員会名で印刷していただいて、4月の頭に職員会があると思いますが、そこで扱っていただいて確認をしていただきたいと思います。児童生徒、保護者からも意見をいただいて反映させていかなければいけないものですが、時間的に今年度は無理かと思っておりますので、平成30年度試案として出したものを1年かけて意見をいただきながら改訂版を作るという流れになると思います。学校として児童生徒、保護者に説明をしていただきたいと思います。中学校は、校長講話が5月の参観日にありますので、小学校の方でも時間を設けていただいて校長先生から保護者の方に説明をしていただければと思います。アンケートなどは、来年度この部会で検討していただいて作っていければいいのかと思います。

「H30 保小中一貫教育の取組」についての流れとしては、10月の分散会で7つの分散会について意見の交換をしました。具体的に進められるものとまだはっきりとしていないものがありますが、それについてを一覧表にしたいということで成果としてまとめていきたいと考えました。今回の部会で作成の提案をさせていただいて、その後各学校で熟議をしていただいて、大きなA3の紙に入力してもらいたいと思います。大きく3つに分けて、「H30 取り組むこと」、「H30 検討すること」、「H31 以降検討したいこと」としました。検討したいことの例としては、各学校でアレルギー調査を行っていますが、保護者がそれぞれを記入するよりも1つを共有すれば済んでしまうこともあります。また、引き渡し訓練もそれぞれのやり方で行っていると思いますが、同じものにしてしまえば保護者の立場としては分かりやすいと思いますので、そういったことを「H31 検討したいこと」に記入していただければと思います。保育園・小学校・中学校と記入欄がありますが、保育園はなかなか難しいところがあると思うので、記入できるところを記入していただければと思います。1枚の一覧表にしたいと考えていますので、収まる字数でお願いしたいと思います。各学校で同じ方向を向いていればすぐにできると思いますし、違っていてもお互いの学校の考えを共有できるので、内部資料として現状を掴むには良いと思います。こうやって「見え

る化」することでそれぞれがどういう方向に向かっているのかが分かると思うので、作ってみたらどうかと考えました。今年度まだ動いていない分散会については「H30 検討すること」というところから始まると思います。

来年度の方角としまして、今年度の 10 月に行った 3 校園連絡会を来年度は 2 回程度行う予定で考えました。1 回目は 5 月に平成 30 年度の実施内容の確認ということで分散会ができればと考えています。2 回目は 10 月ごろになると思いますが、平成 30 年度の取組の見返しと平成 31 年度以降の検討ということでやっていければいいかと考えました。PDCA サイクルでより良いものを練り上げていくという考えです。連絡会の前後に部会を開催して、年度の最後にまとめとして計 5 回の部会が必要になると思います。また、視察研修等があればもっと回数は増えると思います。作業部会は、適宜行っていくことが必要になると思います。以上、このような方向はどうかと考えましたが、いかがでしょうか。

**部会長:** PDCA サイクルを繰り返しながら進んでいくとこのようになるのではないかとのご提案でした。平成 30 年度麻績村保・小・中一貫教育の取組(一覧)を皆でまとめていくということが 1 つ。そして、学力向上リーフレットをどうしていくかについてはこの後協議しますが、内容・流れについてご意見等ありましたらお願いします。

**委員:** 「検討」という欄には、これから歩いていった中で新しく出る問題と見えているが 30 年度には難しいという問題を記入するということがよろしいですか。

**委員:** 「H30 取り組むこと」にはすでにやっていること。「H30 検討すること」には検討してはきたが、まだ詰められていないことというイメージです。

**部会長:** その他にご意見等ございませんか。よろしいでしょうか。それでは、来年度の柱となる「学力向上」についてのリーフレットの説明をお願いします。

・「学力向上リーフレット」の作成

リーフレット原案の提案と審議

**委員**：学校間で検討し、この部会でもご意見をいただいた中で修正したものとなります。学力向上に向けた 3 つの柱については前回提案した内容のとおりです。その隣に保護者に向けた文章を載せさせていただいてあります。授業の充実については、家庭で保護者の方が見て分かるように表現を見直してあります。授業における共通ルールというところも保護者の方が見るということで文章を入れてあります。各学年の項目については子どもが見ても分かるようにということで漢字の表記を考えました。また、前回のご意見から適度なイラストを入れて体裁を整えました。以上になります。

**部長**：それでは、ここでは色んなご意見を出していただいて、それぞれの学校で持ち帰った折に検討して次回部会で提案していただきたいと思います。それでは、ご意見等お願いします。

**委員**：授業における共通ルールというところについては、子どもたちの発達段階というのがありますが、小学校の頃から習慣的に「当たり前」というように身につけてほしいことを絞ったつもりです。各学年の項目は小学校 1, 2 年の薄い黄色から中学校 1, 2, 3 年の濃い緑と段々と色が濃くなっていますが、「義務教育が終わるころにはこんな風になってもらいたい」という願いも込め、「この学年ではここまでできるようになる」ということで、子ども・保護者・職員皆で共有出来たらという願いで作りましたが、発達段階等を考慮してご意見をいただければありがたいです。

**部長**：その他にご意見いただけますか。

**委員**：子どもや保護者に向けてということで本当に見やすくなって良いと思います。いくつか意見を言いますので、使えそうなところを取り入れていただければと思います。

1 つ目は、タイトルのところですが、「未来に生きる力を」と入れていただいておりますが、簡単でもいいと思いました。例えばですが

「麻績村学習の手引き」や「麻績村学習スタイル」などこれが何か保護者がすぐにわかる方がいいのかと思いました。

2つ目ですが、学力向上に向けた3つの柱の項目を「柱1」や「柱2」などにするのもどうかと思いました。

3つ目ですが、「試案」という文言をどこかに入れてもらえればと思いました。完成版ではありませんので、途中段階だということをごどこかに入れてもらえればと思いました。

4つ目ですが、「麻績村の目指す子ども像」が無くなっているの、あった方がいいのかと思いました。

5つ目ですが、右上の青色の部分は「なんでこういうものを作ったのかの説明」なので教育委員会事務局で記入してもらった方が良くと思います。

6つ目ですが、授業の充実についてはそれぞれの先生方が発達段階に応じて目の前の子どもと照らし合わせながらやっていただきたいと思いますが、ユニバーサルデザインの観点の言葉がほしいと感じました。

7つ目ですが、このリーフレットは先生方のマニュアルという意味合いもあると思いますので、将来的な検討課題として「何をねらっているのか」というところをごどこかに載せていただければと思います。例えば学力の3要素のようなものをつけたいということをごどこかに入れるか、もしくは基礎体力・学力をつけていき、ゆくゆくは将来を生き抜く力をつけていくというような文を来年度に検討してもらえればと思います。

8つ目ですが、フォントを「丸ゴシック」にした方が見やすいと思いますので、検討して頂ければと思います。以上になります。

**部会長**：ありがとうございます。この意見も踏まえてご検討いただければと思います。その他にございますか。

**委員**：授業における学年ごとのルールですが、3～4に内容を絞ったことは良いと思います。共通ルールの中でお願いですが、「物を大切にす

る」ということを入れていただくのはどうかと思いましたので、また検討材料にしていただければと思います。

部会長：その他にご意見等ございますか。

委員：保護者の方が見て、保護者と子どもが家庭でこのことを話題にしてもらわないといけないと思いますので、親が見て分かりやすく、子どもが見て分かりやすいものを共有しながら話ができるものができると思います。

部会長：その他にご意見等ございますか。

委員：共通ルールの小学校 1, 2 年には「けいさん」という項目がありますが、上の学年からは無くなっていますが、これは何か意図して無くしているのでしょうか。

委員：特に意図はありませんが、スペース的なところで削りました。

委員：「けいさん」という部分が大事なところであったら「スペースが無い」という理由で無くすのは良くないので、検討していただければと思います。

部会長：その他にございますか。

委員：このリーフレットを配布するということは、教師の意識を変えていかなければいけないということだと思います。例えば、授業参観に保護者の方が来た時に、ここに示す授業ができていないと「約束が違う」ということになると思います。このリーフレットをとおして教師の意識が変わるということがまず 1 つ意味のあることだと思います。また、ここにあることを保護者の方にやっていただかないといけないと思いますので、校長講話でもお伝えしたいと思いますが、その他にも投げかけの部分で「この部会で今まで協議してきた」ということをお伝えして、大事にしていければと思います。

部会長：その他にございますか。

委員：授業における共通ルールは、現在行っていないのですか。

委員：行っていますが、学校全体で徹底できているかというところは確認したいところですが、学習プリントがどこかにいってしまうことを無くすためにも「学習プリントはファイルにとじて整理する」ということも全学年できっちりできるようになればいいと思います。

委員：共通ルールに関しては教室に貼っていくのですか。

委員：ある程度大きく印刷して貼った方が良く考えています。現在は小学校だけのものはあります。確認はしますが、貼ってはいません。

部長：中学校ではどうですか。

委員：中学校では、「授業の約束」ということで各教室に貼ってあります。また、「学習の手引き」というものを生徒に配って学習オリエンテーションを行ったり、使ったりしていますが、今回の小中一貫についても黒板に貼ったり、手引きに入れたりしていきたいと考えています。

部長：その他にご意見ございますか。

委員：家庭学習の中で高学年になるにつれて「自主学習」という項目が出てくることは良いことだと感じました。

部長：その他にご意見ございますか。

委員：なかなか保護者としては、学習に関しては先生方にまかせっきりになってしまっている方も多いのではないかと思いますので、学校と保護者と連携して今後何をしていけるかを考えた時に「学習」だと思えるので、こういうリーフレットができることは本当にありがたいと思います。個人的に感じたこととしてですが、中学生の学習時間が「学年+1時間」となっているので、3年生は4時間の学習時間となるので、すごい時間だと思いました。

部会長：その他にご意見ございますか。

委員：このリーフレットは、どういう体裁で出す予定ですか。両面刷りの1枚なのか、それとも片面2枚となれば「このリーフレットがどういうものか」を説明する文章を鑑に載せることもできますが。

委員：1枚裏表で良いと思いますが、どうですか。

委員：こだわりは特にありませんが、1枚にまとめた方がいいのかと思います。修正はしていきますが、基本的にはここで示したものを基本にして配置を大きく変えるということはしないつもりです。

委員：このリーフレットがどういうものなのかという送付文を完成したリーフレットにつけてというやり方もありますので、青枠のところでは簡略した文章を載せていきたいと思います。

委員：送付文には「教育委員会」ということを入れていただきたいと思います。

部会長：その他にご意見ございますか。

委員：家庭学習の中の「家庭での援助」ということで家庭で保護者の方にもお願いしたいということで、各学年に発達段階に応じた項目を載せさせていただきました。また、1番下の枠に「確かな学力を身につけるために」ということでテレビやゲーム、スマホについて載せさせていただきましたが、「早寝早起き朝ごはん」という生活習慣も確かな学力の定着には大事だと思いました。話題には挙がったのですが、健康教育にも関わってくることで迷ったのですが、問題が無ければ載せさせていただければと思います。

部会長：このことについてご意見いただけますか。

委員：私も、載せさせてもらった方が良いでしょうと思います。

部会長：その他にご意見ございますか。

委員：1枚にまとめるという方向で行きたいと思いますが、このリーフレットの責任の所在が必要になるとは思います。どうでしょうか。

部会長：それについては、教育長さんご意見いただけますか。

教育長：それについては、「麻績村教育委員会」のお墨付きというものが必要になるとは思いますので「麻績村教育委員会」が良いと思いますが、その中で載せ方をどうするかというところはありません。

部会長：その他にご意見ございますか。

委員：リーフレットの中に「村・学校・家庭が協力して・・・」というところがありますが、教育委員会や地域の方にもご協力していただいている部分がありますので、そういう部分を入れていただくことが出来るかどうか、体験活動をしていただくことで「学びの基礎」を作っていただいていると感じていますので、そういう部分を入れると地域の方に理解していただけるのではないかと思います。

部会長：大事なお指摘をいただきました。具体的には、事務局でスペースの中でうまくまとめていただきたいと思います。他にございますか。

委員：家庭学習の中で、「家庭での援助」というところですが、大事な部分ですので、強調していただいてもいいと思います。

部会長：それでは、次回確認となりますので、それまでに審議をお願いします。それでは、部会の進捗についての周知について移ります。

#### (4) 部会の進捗についての周知について(保護者からの要望等)

部会長：このことについて何かご意見ございましたらお願いします。

委員：前回の部会でも報告しましたが、まだまだ保小中一貫教育がどうい

うものなのかが見えない部分が多く、それで不安を抱えている方がいるのは事実なので、「どうやって不安を解くか」ということを考えて具体的な形で報告をするということは必要だと考えています。それを今年度の末ぐらいにまとめとして小中学校に報告できればいいと思います。

話は変わりますが、先ほどの ICT の関係で「小中学校の ICT 環境が整っているとは言い難い」ということでしたが、整備の目途はどのようになっていますか。

**委員**：簡易に繋がるプロジェクターという部分については今回中学校に入りますので、小学校と中学校でおおよそ同じ環境が整えられるので、小学校で行った形式を中学校でも行えるということになります。ストレスのない LAN 環境については、まず調べてからになると思います。教室への端末の常設については、セキュリティーや保安等の問題もありますが、予算が関わることですので、今後の検討課題になります。

**委員**：予算が関わることですので、すぐに整備できることでは無いと思います。計画的にやっていただかないといけないことだと思いますので、ICT についても学力向上のように具体的な整備計画が見えるようにしていただければありがたいと思います。

**部長**：その他にご意見いただけますか。

**委員**：保護者から聞かれることとして「結局何が変わるのか」ということがよく聞かれます。その点についてはリーフレットができれば分かりやすいと思います。ただ、言いたいことがありすぎても結局は保護者の方に伝わりにくくなってしまうと思いますので、「何が変わるということを明確に、早い段階で伝える」ということが大事だと思います。

**部長**：先ほどにも少し話題になりましたが、リーフレットを配布する時の鑑をつけて説明するというのも大事ですね。その中に全体像が見えるようなものを入れていけば分かりやすいと思います。ICT につ

いては、よく整備していただいているのでありがたく感じています

**委員**：大規模校では、ICT機器の整備があまり進んでいないという話も聞こえてきます。

**部会長**：ありがとうございます。その他にご意見いただけますか。

**委員**：部会の進捗状況等、興味のある方はインターネットで確認していただきますが、興味が無い方は全然興味が無いという感じなので、リーフレットも作っていただいたので、今後どのような周知をするのが良いのか皆で検討していければと思います。

**部会長**：その他によろしいですか。それでは、教育長さん全体を通してお願いいたします。

**教育長**：本当に良いものを作っていただけるなと思います。家庭学習の部分では、家族として子どもの学習に付き合えるようになりますので、これが徹底されればより良いものになると思います。ありがとうございます。

**部会長**：それでは、次回の日程に移ります。

#### 4 次回開催日程

平成 30 年 2 月 26 日(月) 17 時 00 分 ～

#### 5 閉会

**教育次長**：ありがとうございました。以上を持ちまして第 6 回保育園学校部会を終了します。お疲れ様でした。

(閉会 18:56)